

# 関東

関東の景況は、住宅建築が足許減少したものの、個人消費、輸出が持ち直すなど、回復。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、飲食料品や雑貨を中心に大型小売店販売が増加し、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売も増加するなど、持ち直し。住宅建築は、分譲住宅が増加したものの、貸家が減少するなど、足許減少。設備投資は、製造業を中心に投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、独立行政法人等、都県が減少するなど、足許減少。輸出は、建設・鉱山用機械が減少したものの、鉄鋼、石油製品が増加するなど、持ち直し。

生産活動は、化学、電子部品・デバイスが減少したものの、プラスチック製品、一般機械が増加するなど、緩やかな持ち直し。観光は、外国人客を中心に宿泊施設の客室稼働率が高水準を維持するなど、緩やかな持ち直しの動き。雇用は、完全失業率が低下し、有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								